施策評価シート

ľ	旃	筶	ന	概	亜」
L	ᄱᄠ	፠	$\mathbf{v}_{\mathbf{z}}$	THAT	女』

危機管理室特命主幹 田喜知 和仁 登録者(課長)名【1】 危機管理室 主管課(関係課)【2】

	施策名【3】		分野【4】	まちづくりの	方向性【5】
安2-	3 危機管理体制の整備	安全なまち	づくりと暮らしのため に	安全で快適に暮	らすまちづくり
	施策全体の課題	[6]		施策実現へむけた	施策の目標【8

地震災害や感染症など、生活に多大な影響を及ぼしかねない不測の事態が発生し でいます。特に東日本大震災では、地震と津波の被害にとどまらず、福島第一原子 力発電所の事故による放射性物質の拡散やライフラインの混乱、首都圏における公 共交通機関の運行停止や帰宅困難者の発生、さらに電力需給のひっ迫に伴う計画停 電など、これまで想定していなかった事態が多く発生しました。 今後は、東日本大震災の教訓を踏まえ、防災関係機関や生活関連施設などを含め た、災害などに対する全市・全庁的な危機管理体制の構築を推進していく必要があ

概要 はまた、非常時に適切な行動が速やかにできるような取組や非常時における情報提供手段の活用についても検討が必要です。

留意すべき点(都などの制度の変化・その他制約条件・社会環境の変化) [9]

◇東日本大震災以降、国では災害対策基本の改正、関係法令の改正が行われました。また、大規模災害への対応強化のため、上位計画である防災基本計画(平成26・27年修正)や東京都地域防災計画(平成26年修正)が改訂されました。 ◇新型インフルエンザの脅威から国民の生命及び健康を保護し、国民生活及び国民経済の安定を確保するための措置を的確かつ 迅速に行うため、平成25年新型ロスルエンザ等対策特別措置法が施行されました。この特別措置法を受け、西東京市新型イン フルエンザ等対策本部条例が制定されました。

			+ Wenk - 1 1 - 1 - 1 - 1 - 1
		事業群名【10】	事業群の施策上の位置づけ【11】
	1	危機に備えた総合的な危機管理体制の強化を図ります	全庁的な危機管理体制の構築
击			
事業群			
矸			

【施策の成果】

				年度	24	25	26	27	28	29
		名称	「市の危機管理体制の整備」に対する満足度	目標値		15%		単位	9⁄	ó
	指標	第 出 式	災害などの危機から市民を守るために、市が行っている「市の危機管理体制の整備」の取組に対する評価を、市民意識調査の「市民満足度」により把握します。	実績値	10. 8	10.8	10. 8	13. 9		
	'	説明式・		達成率	72%	72%	72%	93%		
	l la	名称		目標値				単位		
	指 標 2	第 出 式		実績値					単位	
成 果 指 標 【12】	2	説明式・		達成率						
福 標 【12】	. ₩.	名称		目標値				単位		
121	指 標 3	第出式		実績値						
	3	明式・		達成率						
	. ₩.	名称		目標値				単位		
	指 標 4	第 出 式		実績値						
		明式		達成率						
			達成率の平均値		72%	72%	72%	93%		

【市民意見】【13】

24年	度	27年	度		
満足度(%)	10. 8%	満足度(%)	13. 9%	満足度(%)	
満足度 (平均ポイント)	-0. 36	満足度 (平均ポイント)	-0. 21	満足度 (平均ポイント)	
重要度(%)	85%	重要度(%)	84. 8%	重要度(%)	
重要度 (平均ポイント)	1. 62	重要度 (平均ポイント)	1. 55	重要度 (平均ポイント)	

各年次の市民意識調査で、 施策ごとの「満足、やや満 足」「重要、やや重要」の 合計値として算出しています。

【一次評価】

非常時における市の 行政執行体制を確保し 、安全・安心なまちを めざします。 施策成果の目標達成状況

[14]

証 施策の 【14】 項 成果と課題 意識調査での満足度

□まだ未達成

■ ほぼ達成

□目標を大きく上回る

		[15]	■ 平均を下回る	口はは平均	山平均を上凹る		¬/
(取組	の成果と課題	◇管理職職員の実践的ながまた。 すが、電機対応能自主的が、各等においる自主が、 ◇各等においますが、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、	寺するために今後も組な訓練の必要性の啓発今後は、各部署におけ がイドラインで示す想 レーション訓練を実施	続な研修等が必要や企画・実施を可るPDCAサイクをでいる危機を対した。今後に	要となります。 可能とすることを目的とし フルによる見直しが重要と 対象に、職員の危機事象/ は、より現実感のある訓練	」て、危機管理研修 となります。 への対応力向上を図 東となるよう工夫が	及び訓
題、月	成果向上・ ト削減策等)	◇消防・警察や他の機関。 ◇各部署の危機事案につし。 。	との連携による訓練の いては、自主的に訓練	実施により、連携等を実施できるノ	馬強化に取り組んでいます ソウハウを継承していくこ	す。 ことが重要となって	います
検証項	今後の方針	施策の重要性の変化 【17】	□弱くなっている	■以前と同程	度 口強くなっている		
县 目 —		意識調査での重要度 【18】	口平均を下回る	口ほぼ平均	■平均を上回る		7/
(具体	の方針 k的な事業群	◇今後も危機管理訓練等? す。 ◇危機管理体制の構築は、 から、訓練等を通じ、現? ◇危機管理体制の強化を順す。 ◇災害時における職員間の	最悪の事態を想定し 生の危機管理に取り組 図るため、他の自治体	、それに備えて何 む体制を検証・5 や民間事業者等か	可をすべきが考え、対策を	を行っていくことに	なこと
	務事業を示 がら) 】						
総	施策内容の 方向性【20】	口 拡充	■ 現状維持	□ 絞込み	<		
総合評価		□ 重点化	■ 現状維持	口 効率化	<		
曲	方向性【20】 施策実施 コストの 方向性【21】 施策実施 方針【22】	□ 重点化 ▼ 成果を維持しつつ		口 効率化	<		
曲	方向性【20】 施策実施 コストの 方向性【21】 施策実施 方針【22】	□ 重点化	■ 現状維持	口 効率化	<		
恤 【一	方向性【20】 施策実施 コストの 方向性【21】 施策実施 方針【22】	□ 重点化 ▼ 成果を維持しつつ	■ 現状維持	口 効率化			
(一)	方向性【20】 施策実施 方向性【21】 施策実施 方針【22】 次評価後の 明【23】	□ 重点化 ▼ 成果を維持しつつ 事情変更等】	■ 現状維持	口 効率化			
(一)	方向性【20】 施策実施 方向性【21】 施策実施 方向性【22】 を計算を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	□ 重点化 ▼ 成果を維持しつつ 事情変更等】	■ 現状維持	口 効率化			
(一)	方向性 【20】 施策 を の 方向性 【21】 施策 と	□ 重点化 V 成果を維持しつつ 事情変更等】 i】 □ 拡充 □ 重点化	■ 現状維持 、コストも現状を維持 ・ 現状維持 ・ 現状維持 ・ 現状維持	□ 効率化 計する施策領域 □ 絞込み □ 効率化	けばする公照でなることが	いこの存践管理訓練	
(一)	方向性 【20】	□ 重点化 ▼	■現状維持 ストも現状・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	□ 対	対応する分野であることが は危機管理体制の強化を目 要度は最も高くなっている より上昇していることが 家が生じた場合は、必要が	ます。これは、前回 ら、施策内容・実施	調査結コスト
【行	方向性【20】 施スト 方向性【21】 施スト 大の策(22】 次評価後の が開【23】 本部内での 方向性【20】 本等内性【20】 施スト でである。 があり、 があり、 があり、 があり、 があり、 があり、 があり、 があり、	□ 重点化 ▼ 大変更等 「大変更等」 「大変更等」 「大変更等」 「大変更等」 「大変更等」 「大変更等」 「大変更等」 「大変更等」 「大変更要素が、ないでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	■現状維持 ストも現状・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	□ □ はまき目回 の	要度は最も高くなっている より上昇していることから	ます。これは、前回 ら、施策内容・実施	調査結コスト

【施策内の事務事業貢献度判定】

安2-3 危機管理体制の整備

事業群	名称【25】	担当課【26】	概要【27】
1	危機管理体制の構築	危機管理室	危機管理体制の構築に向け、全庁的または部署別に各種訓練を実施し、職員の危機管
			理意識の醸成を図っています。
:	事業の合計		

総コスト(千F : 評価年	度【28】	人件費	事務事業 の評価 (直近)【29】	26市の サービス 水準との 比較【30】	施策における位置づけ【31】	貢献度 【32】
6, 475	4, 005	2, 470			職員、組織の危機対応能力の向上が	В
					図られます。	
6, 475	4, 005	2, 470				